

ほうれん草の力

「ほうれん草が・・、ほうれん草・・・。」朝っぱら（7時40分ごろ）から何の話？生物のA嶺先生が困り顔で、ほうれん草を連呼。生物の授業で色素の分子量の違いを証明するクロマトグラフィーの実験に、どうもほうれん草が要るらしいのです。

1限目の授業は8：50に開始。マックスバリューはまだ開店前で、今から買いにいけない。困った・・。そこで、「そこらへんにいっぱい草はえてるやんか。それ使ったら？」と言うと、「何を言ってるんですか、とんでもない！だからシロウトは困るんだ！」という形相。どうしても、絶対に、何が何でもほうれん草！らしい。（ちゃんと買っとけばよかったのに！）

・・・それで、どうなったかと言いますと、3－4の2限目の英語が突然1限目に、1限目の生物が2限目に変更。何も知らない生徒たちは、ほうれん草のせいで1限目が突然の英語、おまけに即小テストとまさかの展開。恐るべし、ほうれん草。
